

2022年3月期 決算説明会

THE NEW AGE
BALENO
TECH GOES BOLD



スズキ株式会社
2022.5.11

通期実績

…前期比、前々期比ともに増収・営業利益減益

(億円)	当期 ('21/4-'22/3)	前期 ('20/4-'21/3)	増 減		補足	前々期 ('19/4-'20/3)	増 減	
				増減率				増減率
売上高	35,684	31,782	+ 3,902	+ 12.3%	3期振り増収	34,884	+ 799	+ 2.3%
営業利益 (利益率)	1,915 (5.4%)	1,944 (6.1%)	▲29	▲1.5%	4期連続減益	2,151 (6.2%)	▲236	▲11.0%
経常利益 (利益率)	2,629 (7.4%)	2,483 (7.8%)	+ 146	+ 5.9%	2期連続増益	2,454 (7.0%)	+ 175	+ 7.1%
当期純利益 [※] (利益率)	1,603 (4.5%)	1,464 (4.6%)	+ 139	+ 9.5%	2期連続増益	1,342 (3.8%)	+ 261	+ 19.5%

- ・売上高増加 … 半導体を含む部品供給不足の一方、前期が新型コロナウイルス影響により大幅減だったため増収
- ・営業利益減益 … 新型コロナウイルス影響からの市場回復や為替影響の一方で、原材料価格高騰や減価償却費の増加により減益
- ・当期純利益増益… 経常利益増益に加え、特別損益の改善（前期が新型コロナウイルス関連損失▲155億円計上に対し、当期は旧豊川工場跡地売却益+180億円）等により増益

世界 販売	四輪車	2,707千台	2,571千台	+ 136千台	+ 5.3%	その他地域、パキスタン、 インド等で増加	2,852千台	▲145千台	▲5.1%
	二輪車	1,634千台	1,535千台	+ 100千台	+ 6.5%	インド、中国、その他地域等 で増加	1,709千台	▲75千台	▲4.4%
配当	一株当たり 年間配当金	91円	90円	+ 1円	+ 1.1%		85円 (内、記念配当11円)	+ 6円	+ 7.1%

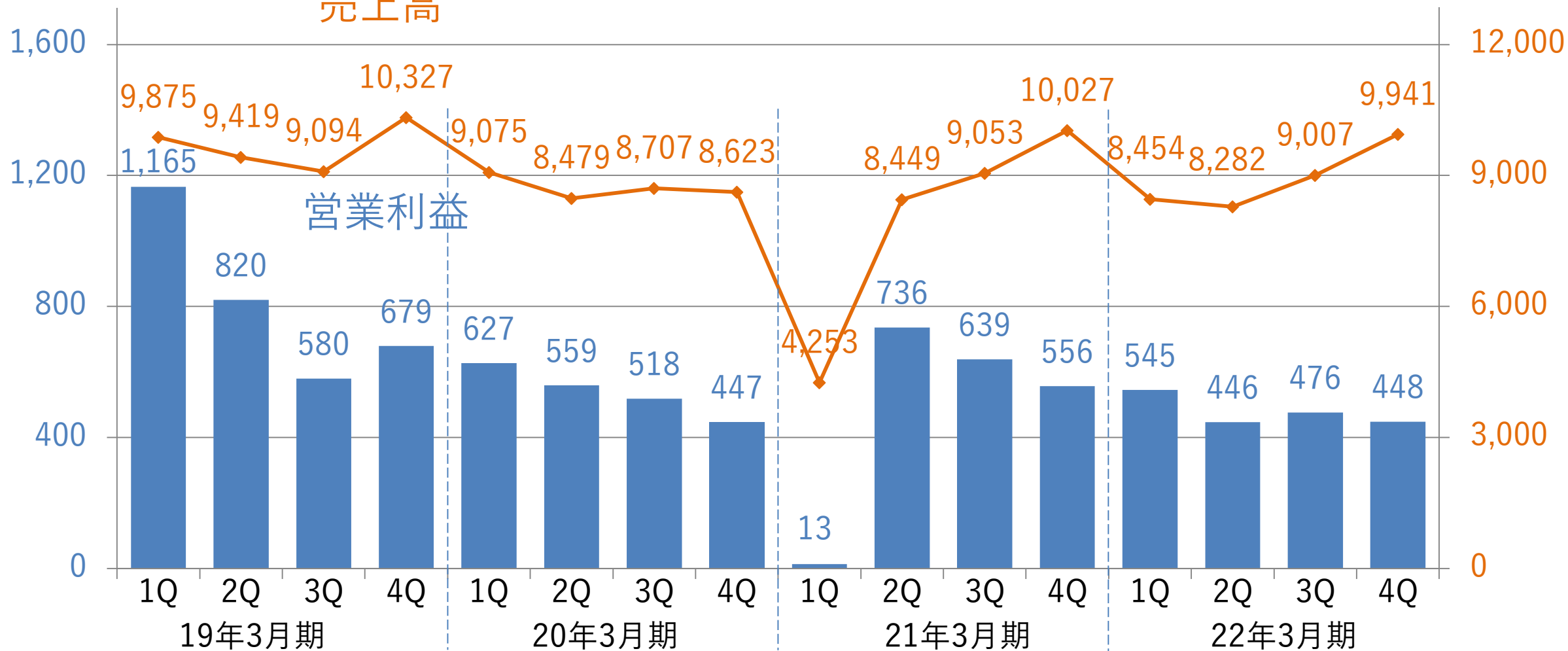
※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

(営業利益・億円)

(売上高・億円)

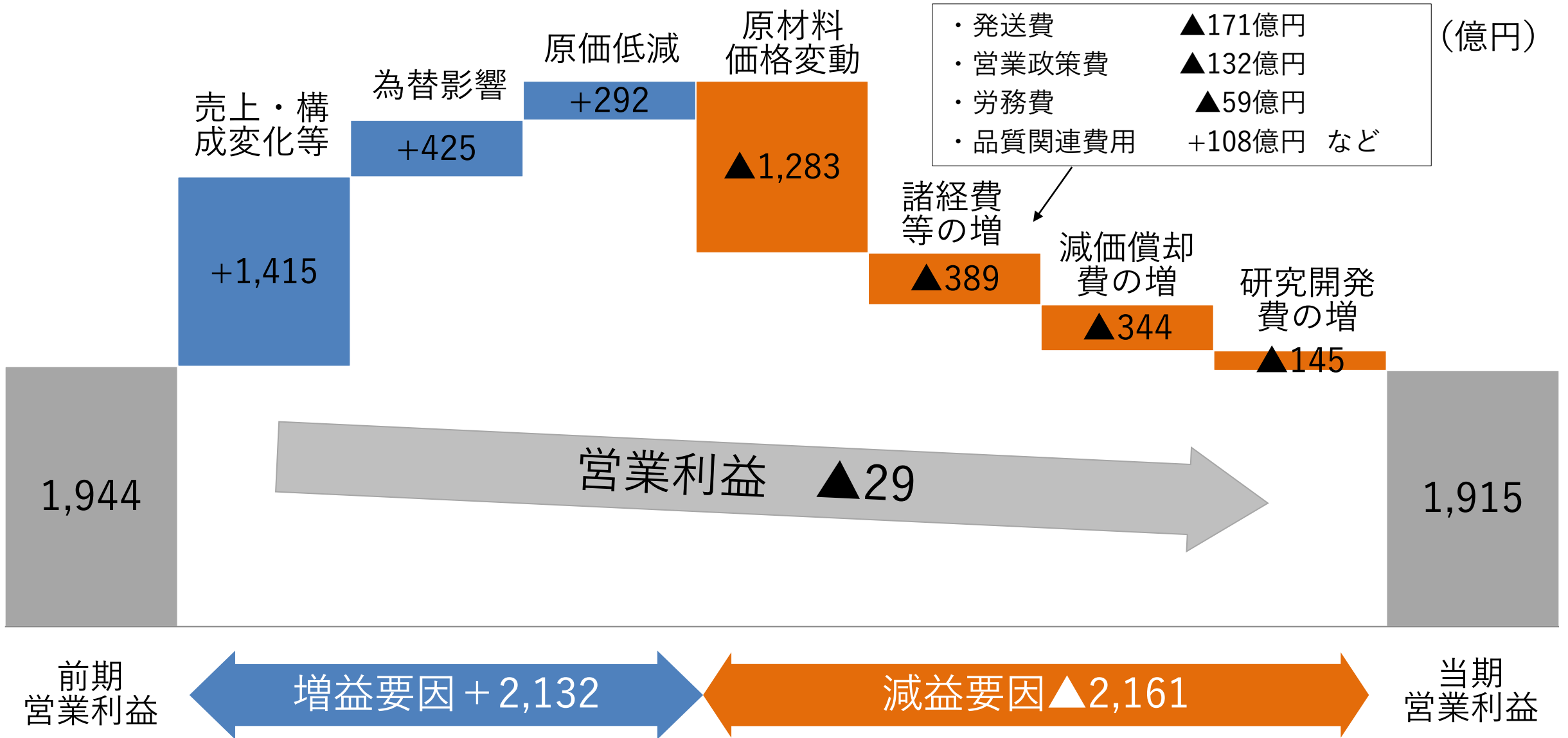
売上高

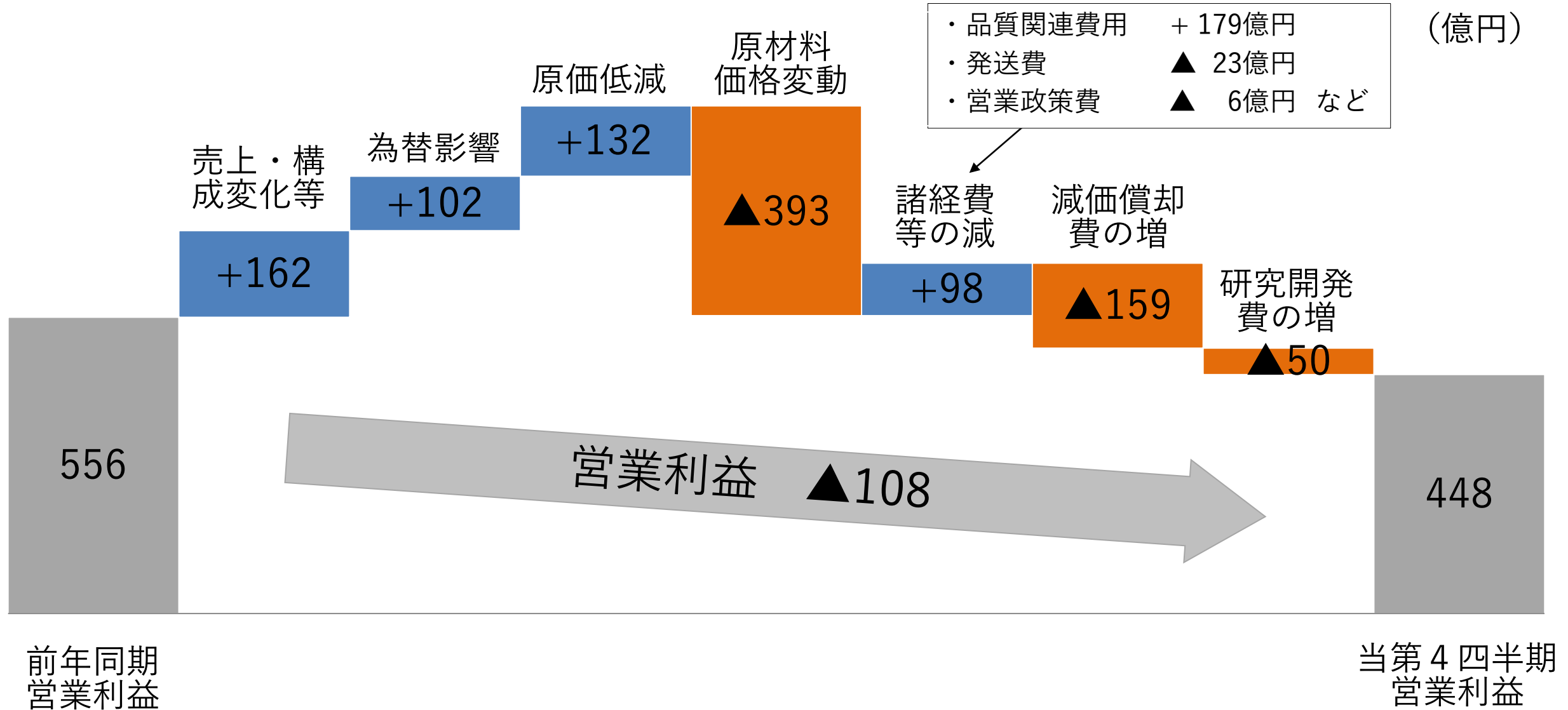
営業利益



(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	10,359	11,390	▲1,031	225	197	+28	32	36	▲4	121	117	+4	10,737	11,740	▲1,003	
自 社	9,530	10,489	▲959	225	197	+28	32	36	▲4	121	117	+4	9,908	10,839	▲931	
O E M	829	901	▲72										829	901	▲72	
海外計	21,689	17,376	+4,313	2,310	1,868	+442	948	798	+150				24,947	20,042	+4,905	+1,370
欧 州	3,667	3,739	▲72	294	309	▲15	220	179	+41				4,181	4,227	▲46	+231
北 米	7	9	▲2	300	241	+59	487	431	+56				794	681	+113	+48
アジア	14,528	11,826	+2,702	1,268	1,002	+266	105	104	+1				15,901	12,932	+2,969	+825
インド	11,107	9,157	+1,950	631	505	+126	6	5	+1				11,744	9,667	+2,077	+625
〃以外	3,421	2,669	+752	637	497	+140	99	99	+0				4,157	3,265	+892	+200
その他	3,487	1,802	+1,685	448	316	+132	136	84	+52				4,071	2,202	+1,869	+266
総合計	32,048	28,766	+3,282	2,535	2,065	+470	980	834	+146	121	117	+4	35,684	31,782	+3,902	+1,370
内、為替換算影響			+1,203			+117			+50							+1,370

注. 当期…2021年4月～2022年3月期、前期…2020年4月～2021年3月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等



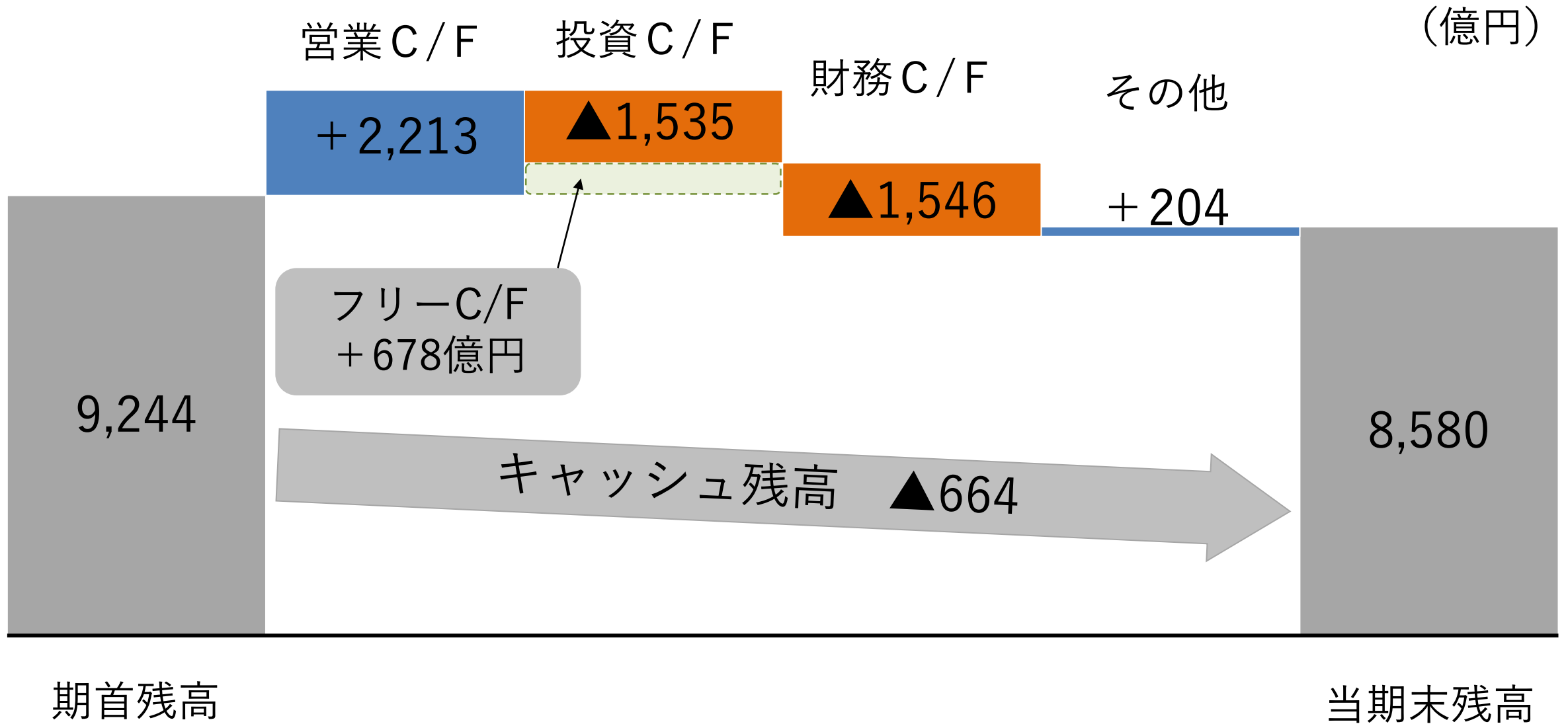


	当期 ('21/4-'22/3)	前期 ('20/4-'21/3)	増 減	営業利益 為替影響
ユーロ	131円	124円	+ 7円	+ 83億円
インドルピー	1.52円	1.44円	+ 0.08円	+ 68億円
米ドル	112円	106円	+ 6円	+ 55億円
メキシコペソ	5.53円	4.93円	+ 0.60円	+ 52億円
南アフリカランド	7.58円	6.52円	+ 1.06円	+ 43億円
オーストラリアドル	83円	76円	+ 7円	+ 30億円
ポンド	154円	139円	+ 15円	+ 28億円
インドネシアルピア※1	0.79円	0.73円	+ 0.06円	+ 14億円
ニュージーランドドル	78円	71円	+ 7円	+ 12億円
その他※2	—	—	—	+ 40億円
計				+ 425億円

※1 インドネシアルピアは100ルピア当たりのレート、※2 その他…パキスタンルピー +11億円、台湾ドル +7億円 他

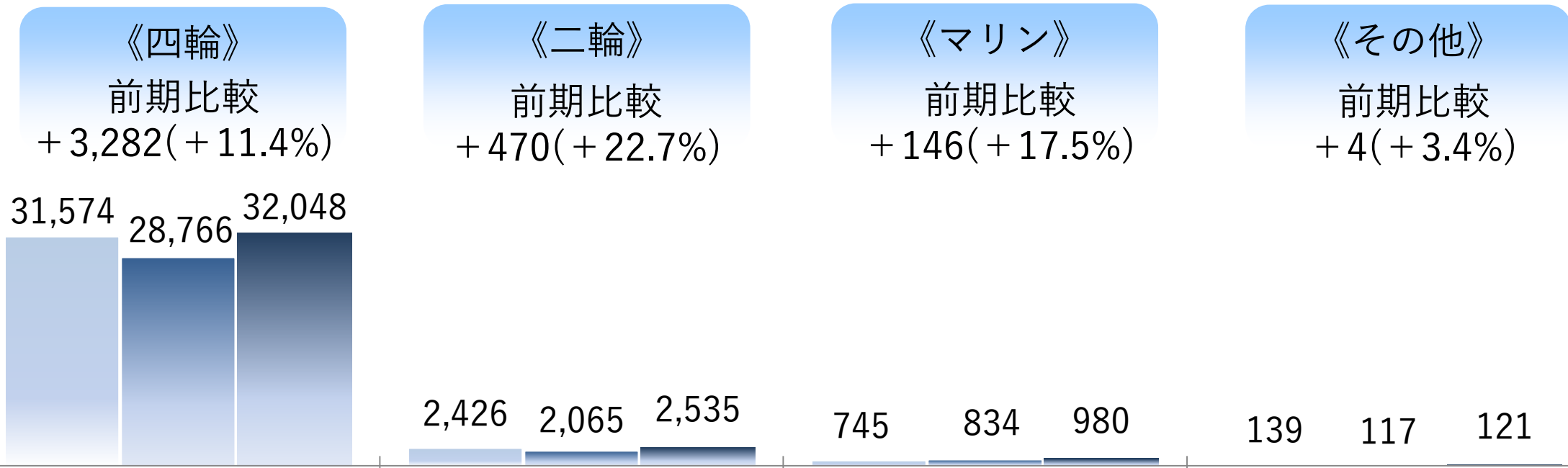
	当期 ('21/4-'22/3)	前期 ('20/4-'21/3)	増減
(当社単独)	582億円	560億円	+ 22億円
(子会社)	1,312億円	1,149億円	+ 163億円
設備投資	1,894億円	1,709億円	+ 185億円
減価償却費	1,615億円	1,365億円	+ 250億円
研究開発費	1,607億円	1,462億円	+ 145億円

	当期末 ('22/3末)	前期末 ('21/3末)	増減
有利子負債残高	6,742億円	7,708億円	▲966億円
連結子会社数	119社	120社	▲1社
持分法適用関連会社数	32社	31社	+ 1社
従業員数	69,193人	68,739人	+ 454人

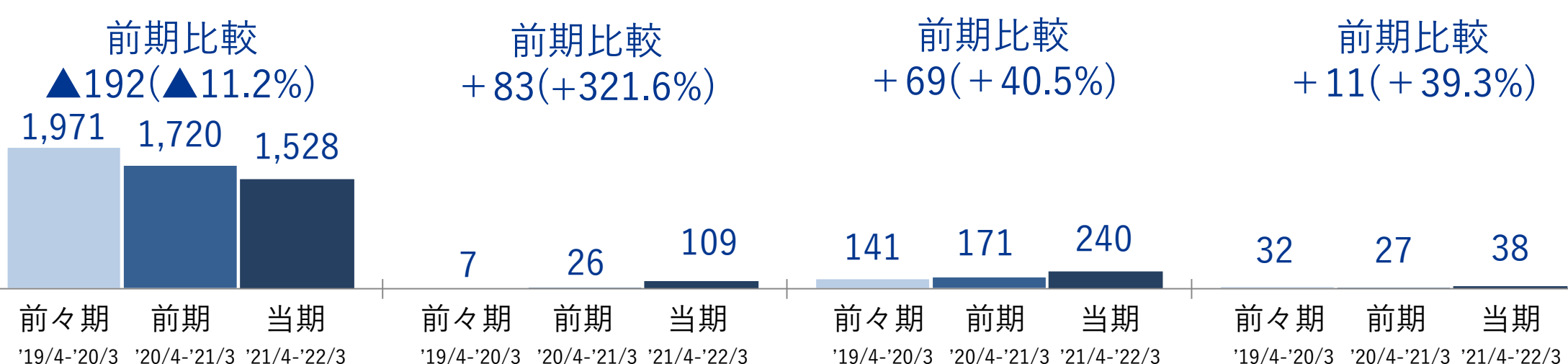


(億円)

売上高



営業利益



前々期 前期 当期
'19/4-'20/3 '20/4-'21/3 '21/4-'22/3

(億円)

《四輪》

前年同期比較
▲214(▲2.3%)

《二輪》

前年同期比較
+87(+14.1%)

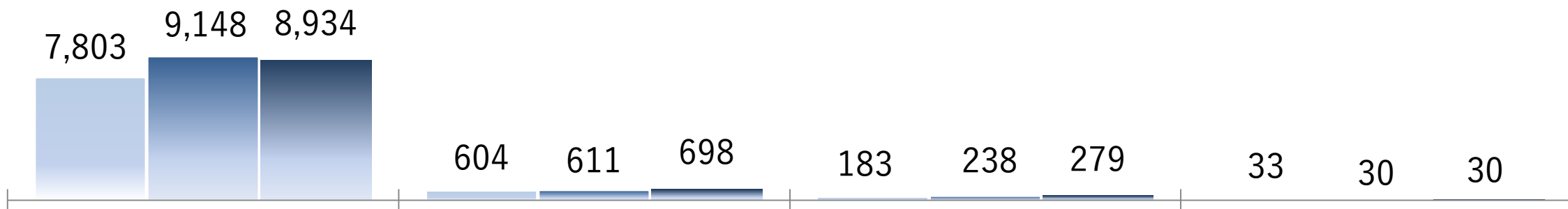
《マリン》

前年同期比較
+41(+17.3%)

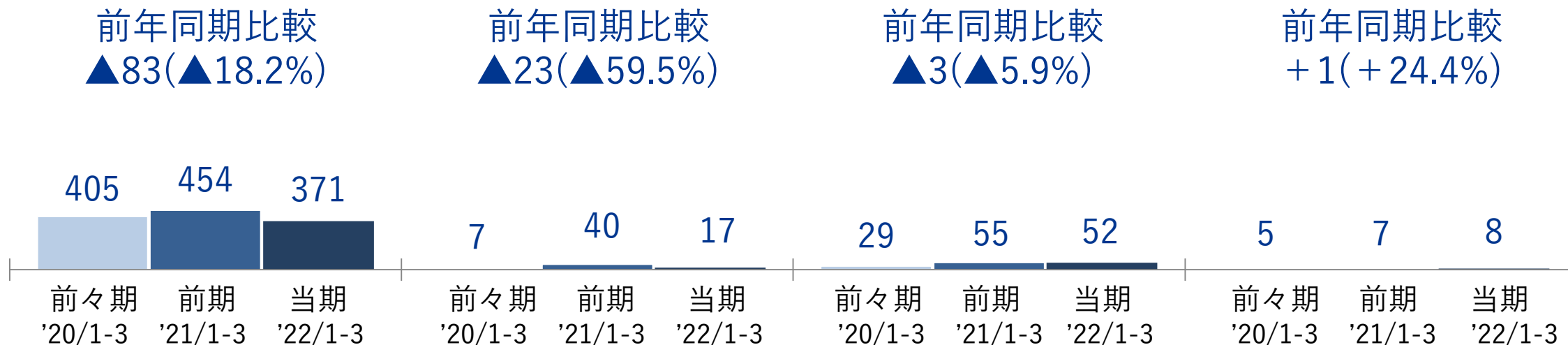
《その他》

前年同期比較
+0(+0.3%)

売上高



営業利益



前年同期比較
▲83(▲18.2%)

前年同期比較
▲23(▲59.5%)

前年同期比較
▲3(▲5.9%)

前年同期比較
+1(+24.4%)

(億円)

売上高

《日本》
前期比較

+ 278 (+ 1.5%)

19,867 19,005 19,283

《欧州》

前期比較

▲118(▲2.4%)

5,674 4,985 4,867

《アジア》

前期比較

+ 4,082(+ 29.3%)

16,514 13,953 18,035

《その他》

前期比較

+ 728(+ 40.4%)

1,856 1,804 2,532

営業利益

前期比較

+ 26(+ 2.2%)

1,232 1,184 1,210

前期比較

+ 18(+ 16.1%)

177 108 126

前期比較

▲122 (▲21.8%)

627 560 438

前期比較

+ 58(+ 66.2%)

65 86 144

前々期 前期 当期
'19/4-'20/3 '20/4-'21/3 '21/4-'22/3

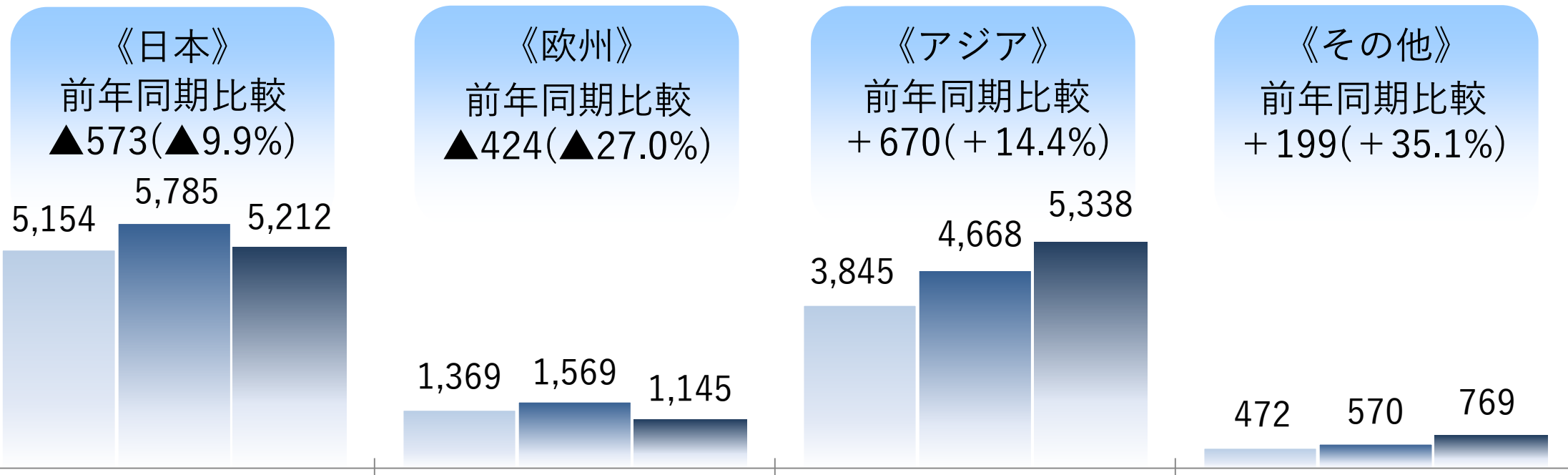
前々期 前期 当期
'19/4-'20/3 '20/4-'21/3 '21/4-'22/3

前々期 前期 当期
'19/4-'20/3 '20/4-'21/3 '21/4-'22/3

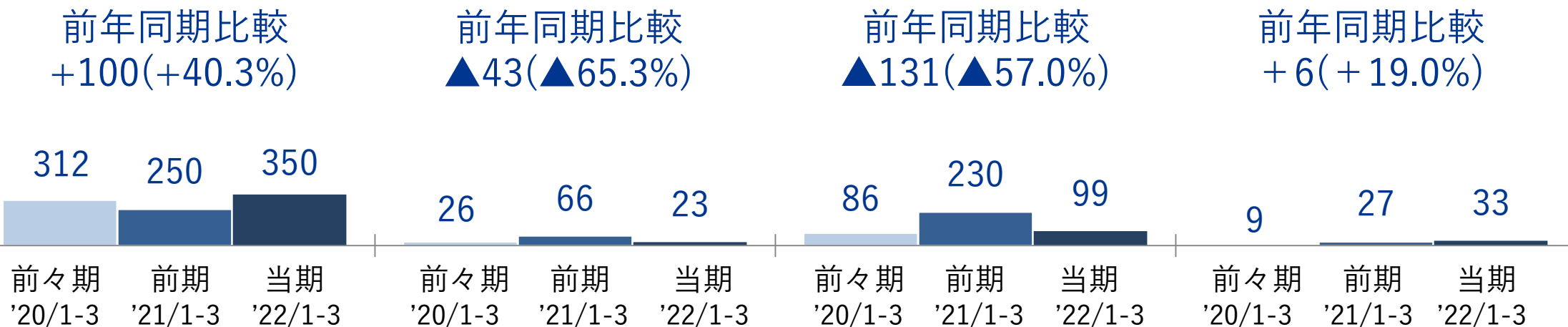
前々期 前期 当期
'19/4-'20/3 '20/4-'21/3 '21/4-'22/3

(億円)

売上高



営業利益



		ルピー建 (億ルピー) ※1			円換算額 (億円)		
		当期	前期	増減	当期	前期	増減
連 結 業 績	売上高	8,380	6,657	+ 1,723	12,738	9,586	+ 3,152
	営業利益※2 (利益率)	292 (3.5%)	232 (3.5%)	+ 60	443 (3.5%)	334 (3.5%)	+ 109
	税前利益 (利益率)	470 (5.6%)	532 (8.0%)	▲62	714 (5.6%)	766 (8.0%)	▲52
	当期純利益 (利益率)	388 (4.6%)	439 (6.6%)	▲51	590 (4.6%)	632 (6.6%)	▲42
	為替レート	1.52円	1.44円	+ 0.08円			
卸 販 売	国内販売※3	1,414千台	1,362千台	+ 53千台			
	輸出※3	238千台	96千台	+ 142千台			
	合計	1,653千台	1,458千台	+ 195千台			

※1. ルピー建は、4月29日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

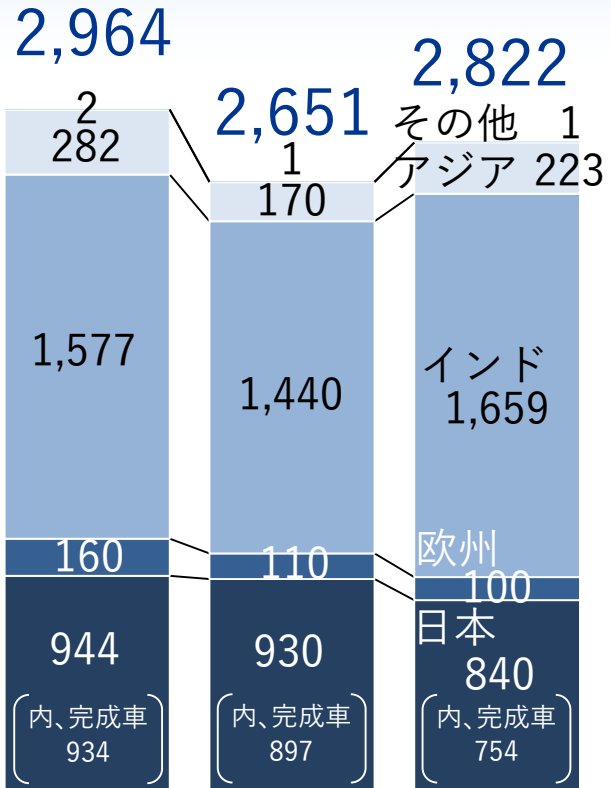
※2. 営業利益は次式により算出
Sales of product
+ Other operating revenues
- Total Expenses
+ Finance costs

※3. 国内販売および輸出はOEMを含む

《通期生産実績》

+171千台 (+6.4%)

(千台)

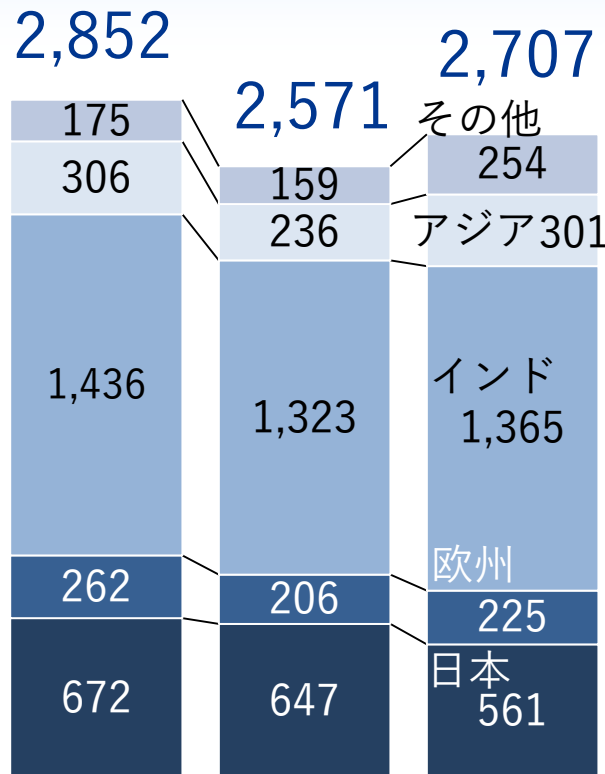


前々期 '19/4-'20/3
前期 '20/4-'21/3
当期 '21/4-'22/3

《通期販売実績》

+136千台 (+5.3%)

(千台)



前々期 '19/4-'20/3
前期 '20/4-'21/3
当期 '21/4-'22/3

● 当期の世界販売

・世界販売 2,707千台 (前期比 +5.3%)

(世界販売の内訳)

インド	1,365千台	(前期比)	+ 3.2%
日本	561千台	(前期比)	▲13.3%
欧州	225千台	(前期比)	+ 9.6%
アジア(除インド)	301千台	(前期比)	+ 27.3%
その他	254千台	(前期比)	+ 60.0%

(インドを除くアジアの内訳)

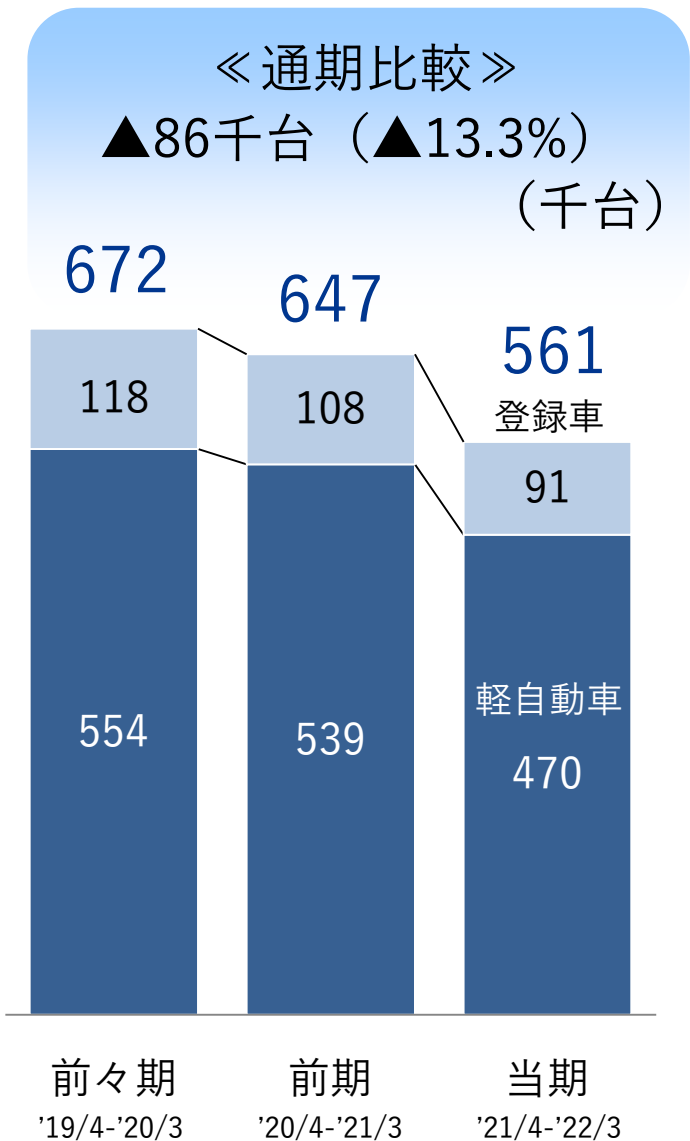
パキスタン	132千台	(前期比)	+ 78.6%
インドネシア	91千台	(前期比)	+ 37.4%
タイ	23千台	(前期比)	▲ 4.7%
その他	55千台	(前期比)	▲ 24.0%

● 当期の日本販売

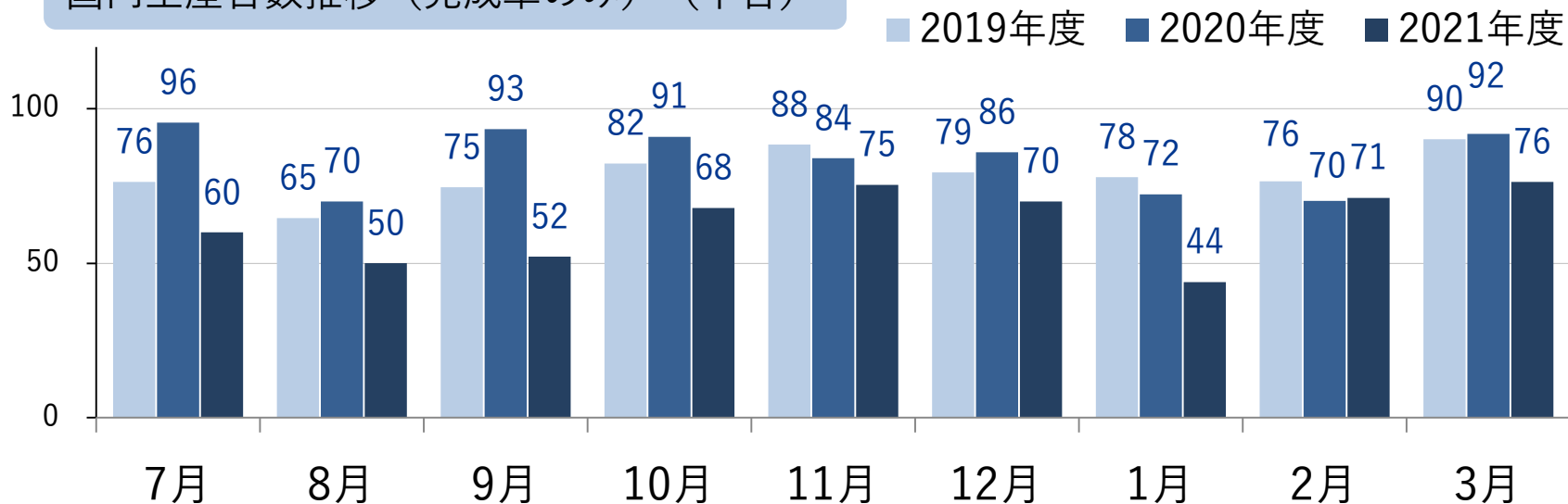
- ・ 当期の国内四輪販売台数は、半導体を含む部品供給不足により生産台数が落ち込んだことから、4~3月合計では前期比▲13.3%、コロナ前の前々期に対しては▲16.5%の減少。

● 当期の国内工場の稼働状況

- ・ 国内工場では5月以降の部品供給不足による工場の生産停止が継続し、販売に影響。通期の国内完成車生産台数は754千台で期初社内予算比ではおよそ75%。

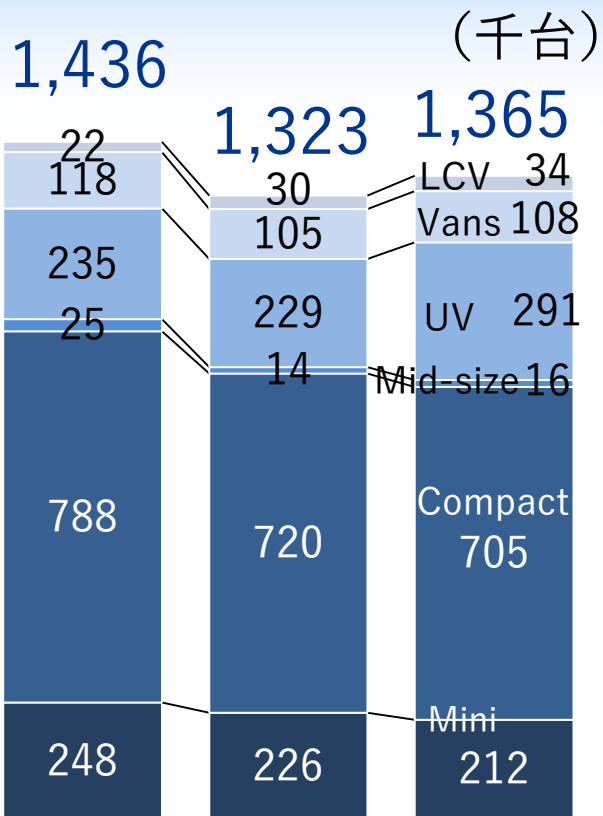


国内生産台数推移 (完成車のみ) (千台)



《通期比較》

+42千台 (+3.2%)



● 当期のインド販売

- ・ 前期がインド全土における大規模なロックダウンの影響を受けていたため、前期比では+3.2%
- ・ 一方、ロックダウンによる販売店の稼働制約、半導体を含む部品供給不足による生産減の影響を受けたため、コロナ前の前々期比では▲4.9%

輸出の伸長

- ・ 当期はマルチスズキからの輸出台数が238,376台と過去最高を記録
- ・ おもな輸出モデルは、Baleno, Dzire, Swift, S-Presso及びBrezza
- ・ 輸出先は南米、中近東・アフリカが主力で、100か国以上
- ・ 当期は輸出の増加もあり、南アフリカ市場でのシェアが3.9%から6.9%に拡大

(千台)	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
マルチ輸出台数	124	126	109	102	96	238

※OEM含む

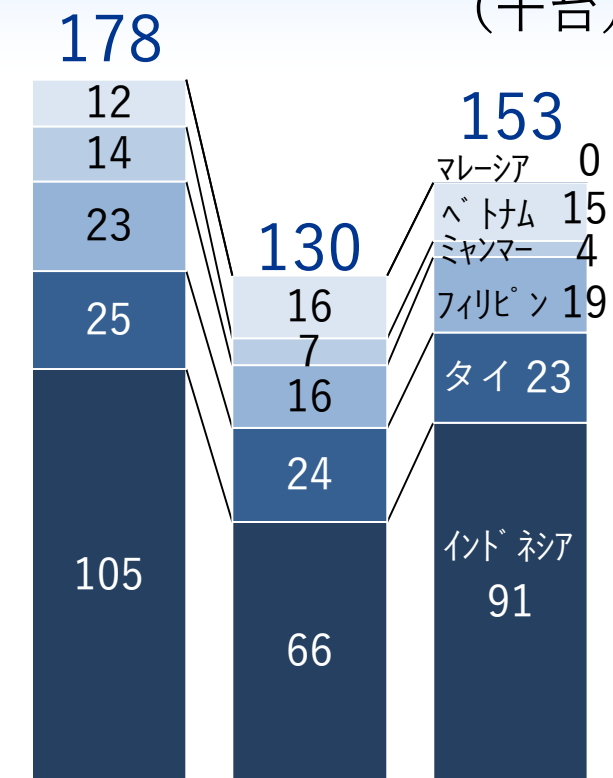
前々期 '19/4-'20/3
前期 '20/4-'21/3
当期 '21/4-'22/3

注. 商用車含む卸販売実績、OEMを除く ※LCV=Light Commercial Vehicles UV =Utilities Vehicles

《通期比較》

+23千台 (+17.5%)

(千台)



前々期 '19/4-'20/3 前期 '20/4-'21/3 当期 '21/4-'22/3

● 当期のアセアン販売

・当期のアセアン6カ国※合計販売台数は153千台（前期比+17.5%、前々年同期比▲14.3%）

<インドネシア>

新型コロナ感染拡大に伴う活動制限の影響を受けたが、2021年3月から実施された自動車奢侈税の減免措置もあり前期比+37.4%

<タイ>

新型コロナの影響により、前期比、前々期比ともに減少

<フィリピン>

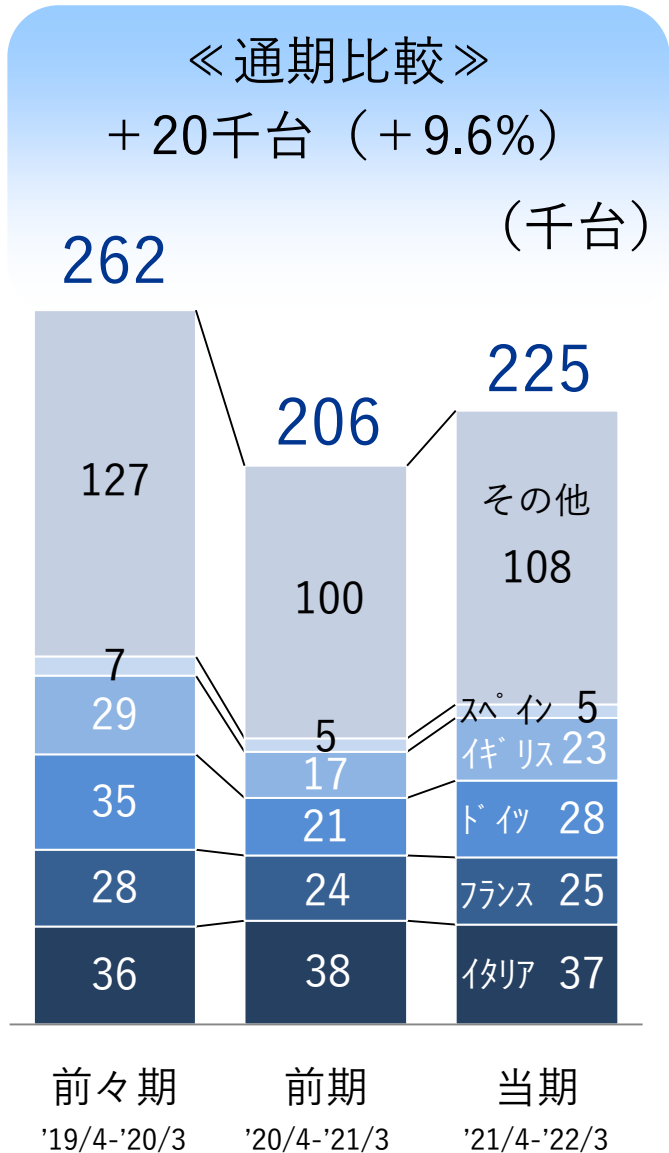
新型コロナの影響は前期より軽微であり、前期比では増加したものの、前々期比では減少

<ミャンマー>

2021年2月以降、政治経済情勢の悪化により、前期比で▲40.1%



※ アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム、マレーシア6ヶ国合計



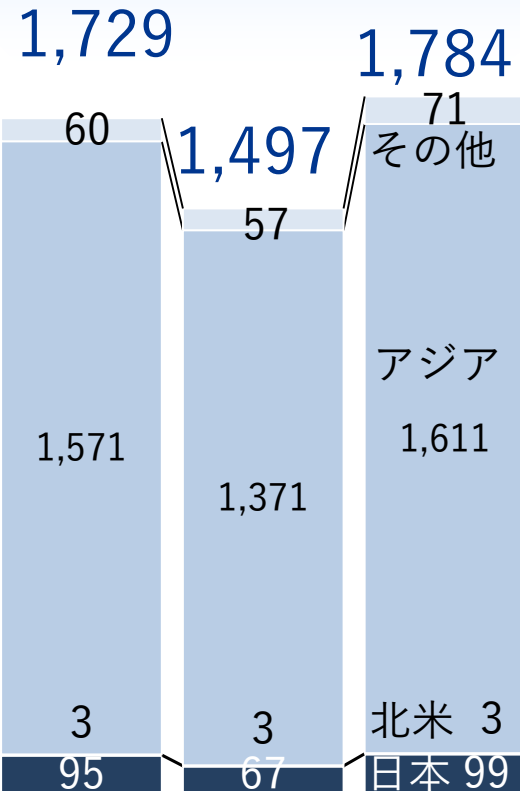
● 当期の欧州販売

- ・ 前期は多くの国で大規模なロックダウンを実施していたが、当期はワクチン接種が進み販売店も通常稼働し、当期販売は225千台、前期比+9.6%
- ・ 前々期比では、半導体を含む部品供給不足による日本やハンガリーでの生産減少の影響により、▲14.0%



《通期生産実績》

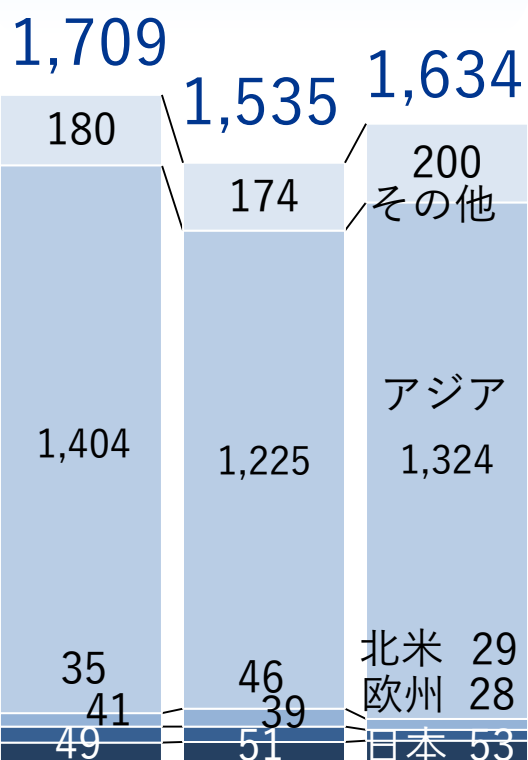
+287千台 (+19.2%)
(千台)



前々期 '19/4-'20/3
前期 '20/4-'21/3
当期 '21/4-'22/3

《通期販売実績》

+100千台 (+6.5%)
(千台)



前々期 '19/4-'20/3
前期 '20/4-'21/3
当期 '21/4-'22/3

● 当期の世界販売

・世界販売	1,634千台	(前期比	+ 6.5%)
・アジア	1,324千台	(〃	+ 8.1%)
日本	53千台	(〃	+ 4.6%)
欧州	28千台	(〃	▲27.1%)
北米	29千台	(〃	▲37.7%)
その他	200千台	(〃	+ 15.0%)
(アジアの内訳)			
インド	610千台	(〃	+ 9.5%)
中国	403千台	(〃	+ 7.9%)
フィリピン	161千台	(〃	+ 17.9%)
パキスタン	35千台	(〃	+ 75.3%)
その他	115千台	(〃	▲16.5%)

- ・半導体等の部品不足に伴う生産調整に加え、コンテナ不足等の物流の混乱が出荷に影響

通期実績

…減収・増益

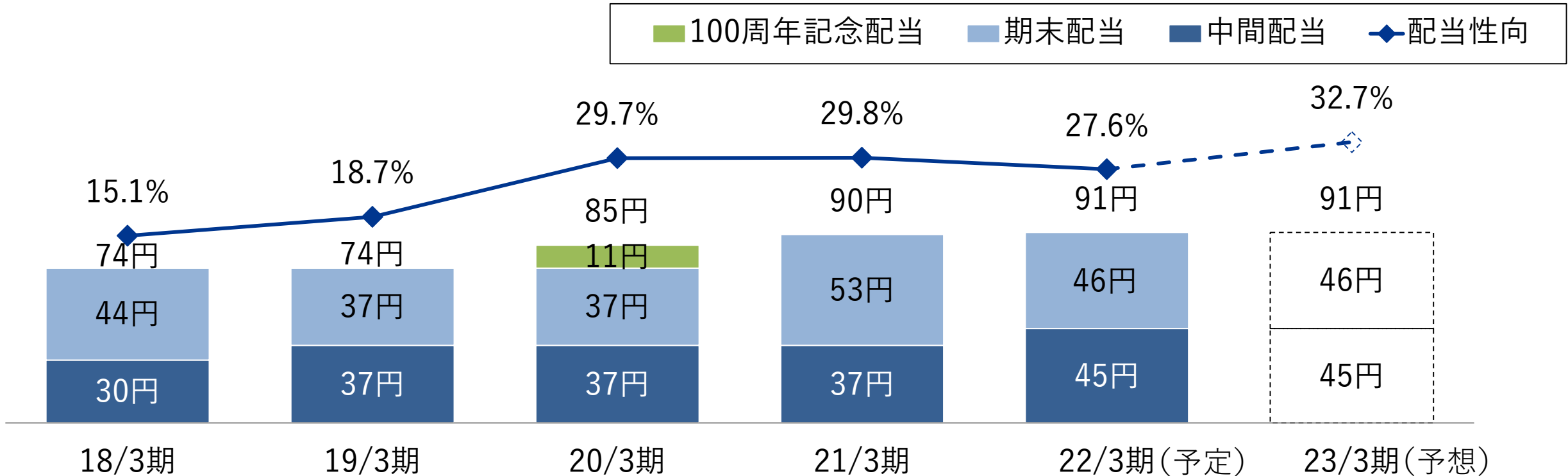
(億円)	当 期 (’21/4-’22/3)	前 期 (’20/4-’21/3)	増 減		補 足
				増減率	
売上高	16,908	17,071	▲163	▲1.0%	3期連続減収
国内	8,362	9,806	▲1,444	▲14.7%	
輸出	8,546	7,265	+1,281	+17.6%	
一般	5,282	4,789	+493	+10.3%	
三国間	3,264	2,476	+788	+31.8%	
営業利益 (利益率)	780 (4.6%)	651 (3.8%)	+129	+19.9%	4期振り増益
経常利益 (利益率)	931 (5.5%)	883 (5.2%)	+48	+5.4%	4期振り増益
当期純利益 (利益率)	830 (4.9%)	804 (4.7%)	+26	+3.1%	3期連続増益

・売上高減少 … 半導体を含む部品供給不足による減産に伴い減収

・営業利益増益 … 売上高減少、原材料価格高騰等の一方で、為替影響や輸出の収益改善対策を実施し増益

期末配当46円、年間配当91円（前期比1円増配）

- ・中期経営計画で公表した配当性向目標30%を目安に、継続的かつ安定的な配当を実施
- ・22/3期は厳しい経営環境を踏まえ、CASEやカーボンニュートラルなど成長投資と株主の皆様への還元のバランスを考慮し、1株当たり年間配当金は前期比1円増配となる91円
- ・次期配当予想は安定配当の観点から前年同額の91円



	(億円)	次期予想 ('22/4-'23/3)	当期実績 ('21/4-'22/3)	増 減		補足
					増減率	
連結 業績	売上高	39,000	35,684	+ 3,316	+ 9.3%	2期連続増収
	営業利益	1,950 (5.0%)	1,915 (5.4%)	+ 35	+ 1.8%	5期振り増益
	経常利益 (利益率)	2,200 (5.6%)	2,629 (7.4%)	▲429	▲16.3%	3期振り減益
	当期純利益※ (利益率)	1,350 (3.5%)	1,603 (4.5%)	▲253	▲15.8%	3期振り減益

- ・売上高 … 台数増、単価改善や為替影響により増収
- ・営業利益 … 増収の一方で、原材料価格高騰や研究開発費の増加を織り込む
- ・当期純利益 … 金融収支の減、特別損益の減等により減益

世界 販売	四輪車	2,908千台	2,707千台	+ 201千台	+ 7.4%	
	二輪車	1,787千台	1,634千台	+ 153千台	+ 9.3%	

配当	一株当たり 年間配当金	91円	91円	-	-	前年同額を予想
----	----------------	-----	-----	---	---	---------

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

< 営業利益増減要因 >

(億円)	通期予想
売上・構成変化等	+1,113
原価低減	+350
為替影響	+300
原材料価格変動	▲850
諸経費等の増	▲400
研究開発費の増	▲393
減価償却費の増	▲85
計	+35

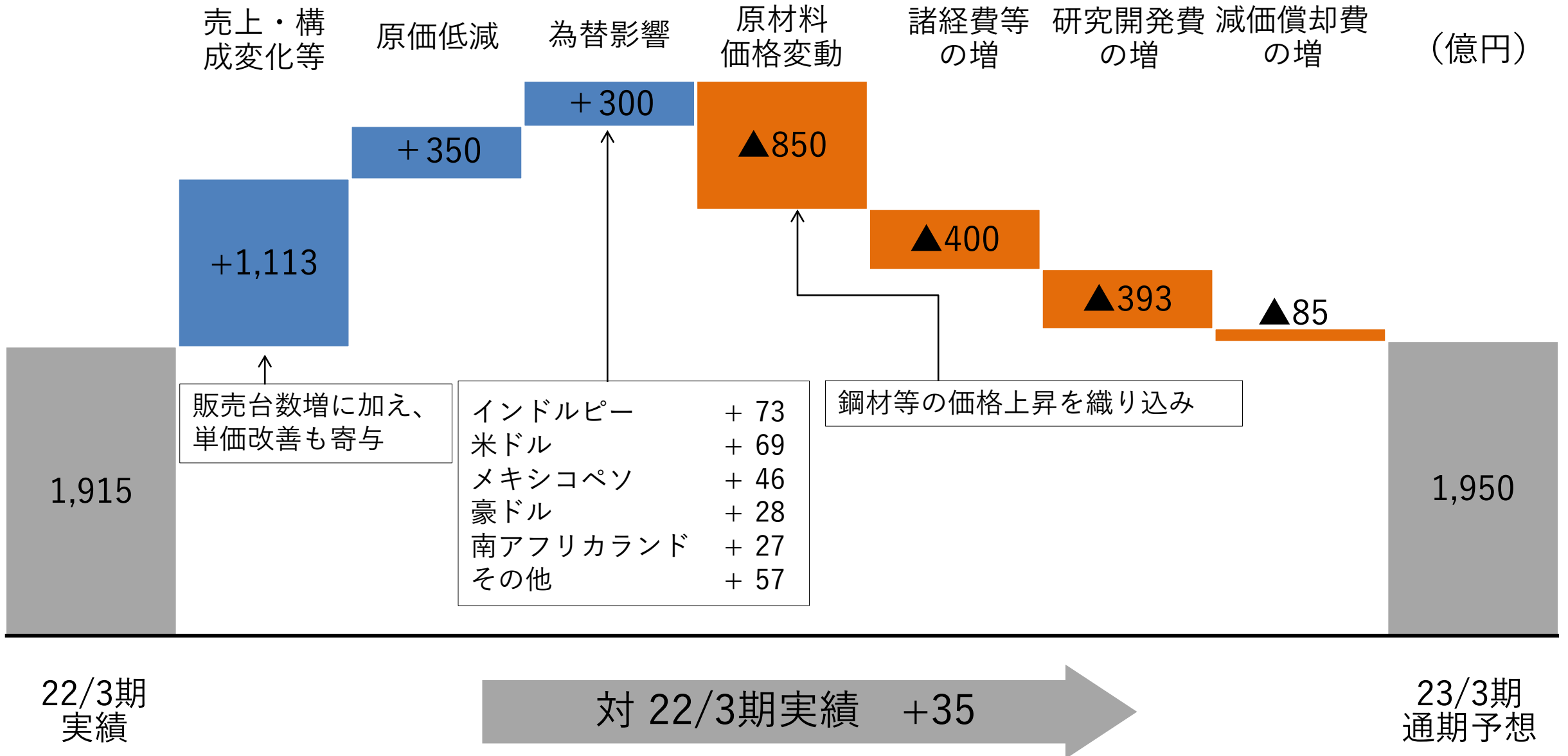
< 設備投資・減価償却費・研究開発費 >

(億円)	通期予想	前期比較	
		前期実績	増減
設備投資	2,900	1,894	+1,006
減価償却費	1,700	1,615	+85
研究開発費	2,000	1,607	+393

< 為替レート >

	通期予想	前期実績	増減	営業利益 為替影響 (億円)
インドルピー	1.60円	1.52円	+0.08円	+73
米ドル	120円	112円	+8円	+69
メキシコペソ	6.10円	5.53円	+0.57円	+46
オーストラリアドル	90円	83円	+7円	+28
南アフリカランド	8.30円	7.58円	+0.72円	+27
ポンド	160円	154円	+6円	+24
インドネシアルピア※	0.85円	0.79円	+0.06円	+18
ニュージーランドドル	84円	78円	+6円	+9
ユーロ	130円	131円	▲1円	▲9
パキスタンルピー	0.66円	0.68円	▲0.02円	▲13
その他通貨	-			+28
為替影響額 計				+300

※インドネシアルピアは100ルピア当たりのレート

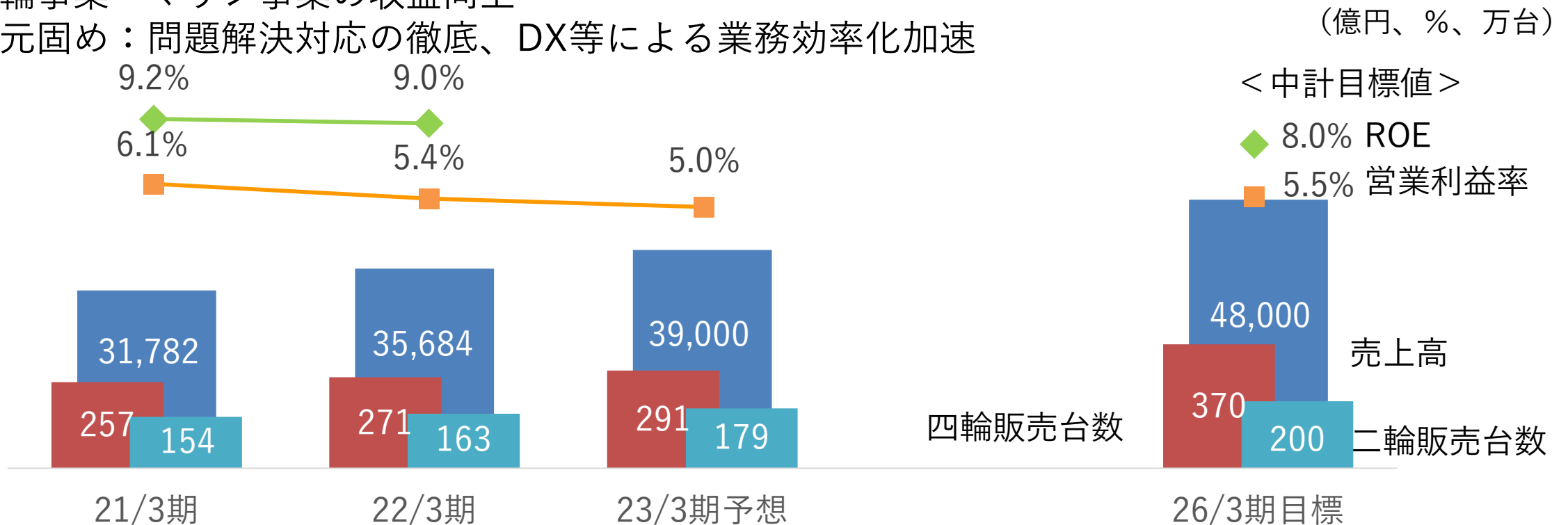


(千台)	生産台数				販売台数				
	次期予想 (23/3期)	当期実績 (22/3期)	増減		次期予想 (23/3期)	当期実績 (22/3期)	増減		
			増減	増減率			増減	増減率	
< 四輪車 >									
日本	1,035	840	+195	+23.3%	663	561	+102	+18.1%	
欧州	136	100	+36	+36.6%	199	225	▲26	▲11.7%	
アジア	1,926	1,882	+44	+2.3%	1,794	1,666	+128	+7.7%	
その他	0	1	▲1	-	252	254	▲2	▲0.9%	
合計	3,096	2,822	+274	+9.7%	2,908	2,707	+201	+7.4%	
< 二輪車 >									
日本	119	99	+20	+20.0%	54	53	+1	+1.1%	
欧州	-	-	-	-	38	28	+10	+34.6%	
北米	4	3	+1	+24.9%	30	29	+1	+4.9%	
アジア	1,534	1,611	▲77	▲4.8%	1,463	1,324	+139	+10.5%	
その他	64	71	▲7	▲9.7%	201	200	+1	+0.4%	
合計	1,721	1,784	▲63	▲3.5%	1,787	1,634	+153	+9.3%	

インド四輪の通期販売見通しは前年比+11%

●様々な構造改革を全力で進めており、今後とも加速

- ・半導体不足、原材料価格高騰等影響に対する収益確保策の機動的実施
- ・EV事業・次世代モビリティサービス領域の体制強化・専門人材育成
- ・CASE対応やカーボンニュートラル化への投資の加速
- ・品質関係費用の着実な低減
- ・二輪事業・マリン事業の収益向上
- ・足元固め：問題解決対応の徹底、DX等による業務効率化加速



2022年3月期 決算説明会



V-STRIM SX

スズキ株式会社

..... 将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動（主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場）などが含まれます。